

2019(令和元)年度事業報告書

(2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日)

特定非営利活動法人越谷らるご

はじめに

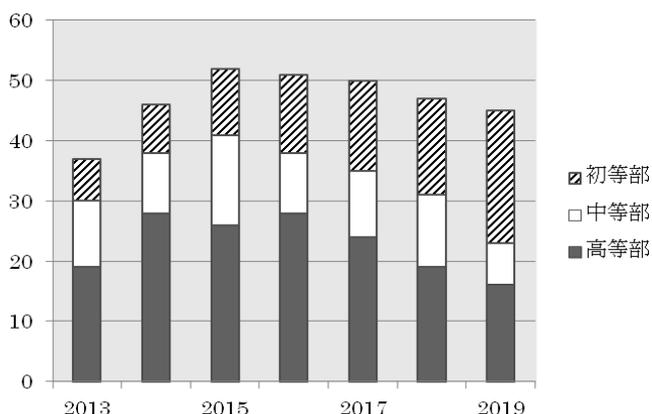
定款に記載された目的および事業の内容を達成するため、事業計画に沿って下記の事業をコロナウイルス感染拡大の影響が出る2020年2月末までは概ね計画通りに実施した。

1 事業の成果

1) フリースクール事業

フリースクール「りんごの木」の在籍者数は、年間を通して45名程度で推移し、下記のような規模となった。

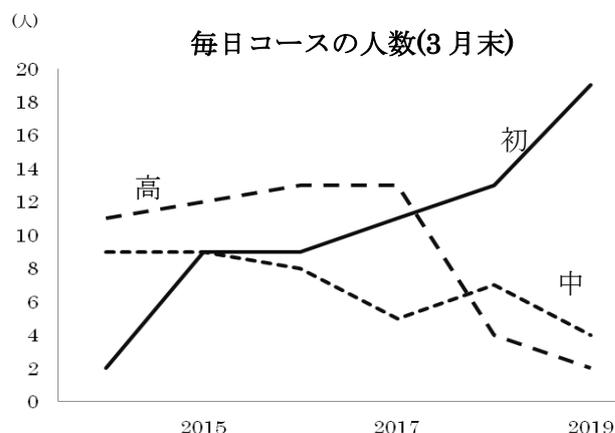
(人) 年度末の在籍者



右上のグラフの毎日コースの人数が顕著であるが、高等部メンバーの減少と初等部の子どもの増加はさらに進み、初等部メンバーが中心となる場になっている。

この数年増加した初等部メンバーも随分と馴染んできており、今のりんごの木の形が定着してきたように感じる。メンバーの過ごし方と昨今のインターネット環境の変化にともない、話し合いを重ね、Wi-Fiをメンバーが使えるようにした。

活動全体では、体育館やプレーパークへのお出かけ、公園遊びなど、屋外での活発な活動も多かった。一方、けんかやもめごとでも変わらずあるが、そうしたなかにおいても、お互いを理解し、互いの距離の取り方、関わり方の工夫をするなどの様子が見られ、落ち着いてきたように感じる。



講座・学習

通信制高校や大学在籍者へのレポート作成等の学習支援、進学に関する情報提供や相談等を個別に実施した。また「ひるめし食堂」や子ども通信の発行なども実施した。

イベント

バンド活動がほぼなく、個人的に楽器を練習するくらいにとどまったので、発表会等の開催、参加はなかった。

誕生日会、お泊り会(2回)、クリスマス会などを実施したほか、7月には伊豆大島合宿(24名参加)、2月には会津高原たかつねスキー合宿(32名参加)を実施し、事故などもなく充実した活動ができた。

フリースクールフェスティバルにはお化け屋敷で参加した。また1社の民間企業と2回スポーツを通して交流した。

ただお別れ会やお泊り会等3月のイベントはコロナウイルスの影響で実施延期となった。

有志で集まり、2020年度のりんごの木30周年記念イベントの実行委員会を開催した。

保護者との関わり

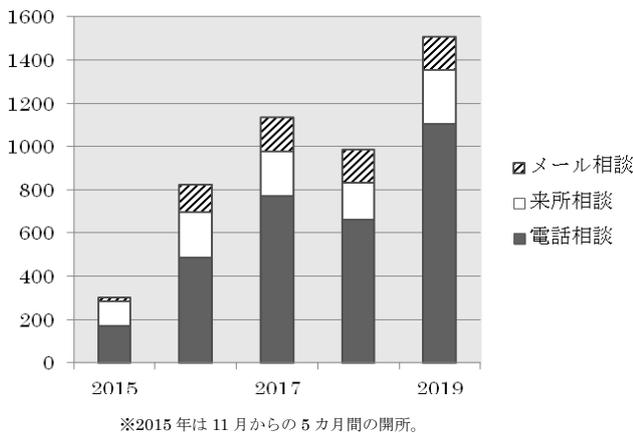
保護者会と保護者面談を開催した。また保護者有志によるお茶会が毎月で開催され、保護者同士の交流が深まるきっかけを作った。

2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業

「埼玉県ひきこもり相談サポートセンター」

相談活動として、埼玉県の委託事業「埼玉県ひきこもり相談サポートセンター」でひきこもり等の相談を受けた。相談件数は下記のとおりである。
(うち、新規の相談は 368 件。2018 年度は 287 件、2017 年度は 305 件)

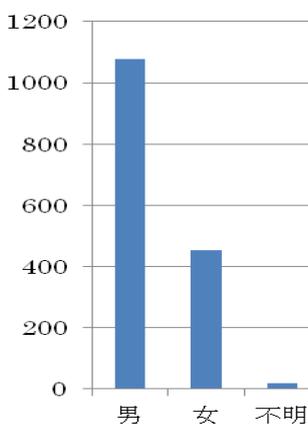
(件) 1 相談件数 (のべ人数)



2019年3月に内閣府による年齢の高い人のひきこもりの調査結果が出たこと、6月前後にひきこもりをめぐる事件が続いたことで、社会的に「ひきこもり」が注目を浴び、全国の「ひきこもりセンター」がマスコミで広報された結果、6月以降相談が急増した。

相談の傾向は以下のものであった。

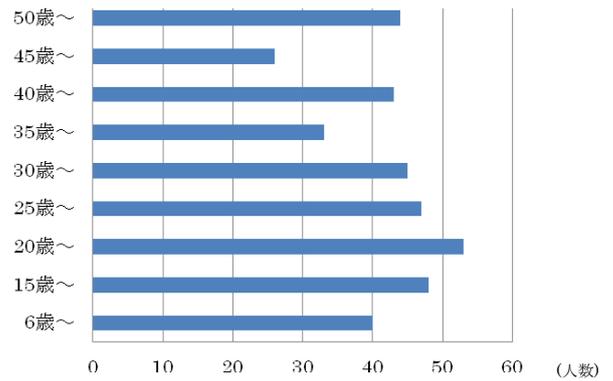
2 ご本人の性別 (のべ人数)
(人)



ご本人が男性のケースがこれまでと同様に女性の2倍以上あった。

年齢に関しては(右上)、それまでは20,30歳台が多かったが、比較的全世代からあり、50代以降が年々増えている。

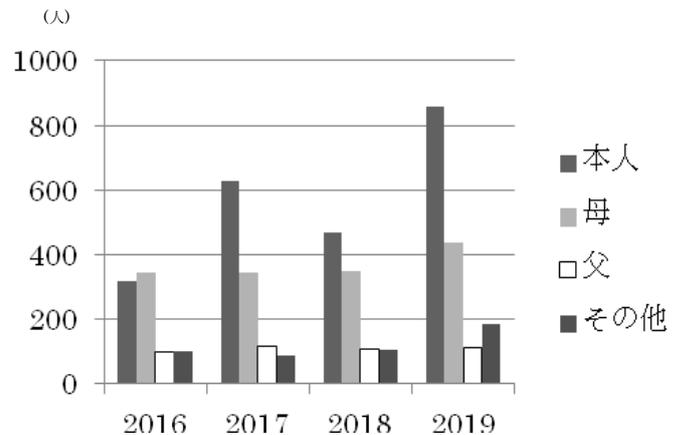
3 相談された方(実人数)



下表のように相談された方はご本人からの相談が一番多かったが、2019年度は特に本人からの相談、とりわけ電話相談が増加している。

相談内容としては何か具体的なアドバイスを求めるというよりも「話を聞いてほしい」というものが多く、まだ動けないが不安の気持ちが高まったり、頼りやすくなったりして当センターを利用するケースが多かったように感じられる。

4 相談された方(のべ人数)



親の会

これまでと同様に参加者数が安定的に推移し、落ち着いた雰囲気の中で毎月行うことができた。ただし3月は新型コロナウイルスの影響で、中止とした。

コル〜発達障害とともに生きる会

発達障害周辺の方(家族や当事者)を対象に、交流や情報交換の場として、これまでと変わらない規模で年4回開催できた。

ほっとりんご (20歳以上の人の居場所)

例年通り、月2回、参加者の希望も聞きながら、アートやカラオケやゲーム、料理作りなど多様な活動を実施した。年度後半は新メンバーも増え、また新たな活気が生まれた。

また女性が安心して気軽に参加できるための「女子会」を年4回、実施し、通常の会よりも多くの女性が参加し、好評であった。



↑9/5「たこ焼きパーティー」の様子

3) 生涯学習にかかわる事業

講演会活動

- ・小道モコさん：発達障碍に関して
- ・芹沢俊介さん：ひきこもり事件について

「わくわく体験プロジェクト」

—越谷市と地域とNPOの協働事業—

地域やNPO、行政が協働して保護者向けのゲストによる不登校の体験談を聞く会など3回の会を実施した。

4) 人権擁護の推進と福祉の増進にかかわる事業(自立援助ホーム)

自立援助ホームゆらいでは、新たに2名の入居者を迎えた。15、16歳で入居してくる子どもたちが増え、18歳未満の就労先の確保が課題となってきた。ハローワークや埼玉県の未来のスタート応援事業者であるコンパスナビなどと連携しながら、支援を行ってきた。

2019年度は「全国自立援助ホーム協議会」「埼玉県自立援助ホーム協議会」を中心とした研修や

会議へ参加した。またあらたに県の条例に基づく研修も義務化され、ホーム運営や入居者への関わりについてより深く学ぶ機会を持つこととなった。

退居者については、電話やメール、来訪や訪問などを通して年間で125件の相談に応じ、継続的な支援を行った。

5) 活動のなかで得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業(広報事業)

「越谷らるご通信」は予定通り、りんごの木の保護者等の協力で月1回発行し、活動の告知や成果の報告などを行った。

また活動報告や告知についてホームページやフェイスブック、メールマガジンなどインターネットを通しての発信も継続した。またホームページのリニューアル作業が完了し、スマートフォンでも見やすいページ作りに努めた。

外部委員：下記の会に参加し発言等をした。

- ・埼玉県子ども若者支援地域協議会
- ・越谷市青少年問題協議会
- ・越谷市自殺対策協議会

講師活動：下記の研修会等の講師等を務めた。

- ・草加市地域包括センター
- ・さいたま市人権相談相談員研修
- ・人権久喜
- ・吉川市障がい福祉課家族会
- ・東松山保健所
- ・NPO法人ネモネット
- ・さいたま市市民活動サポートセンター利用者の会
- ・豊春地区公民館小中学生期家庭教育学級
- ・自立支援専門員事業委員会研修
- ・埼玉県市町村保健センター協議会
- ・春日部市社会福祉協議会。

他、不登校セミナー(県主催)にブース出展した。

2 事業の実施にかかわる事項

特定非営利活動にかかわる事業

事業名	事業内容	実施場所	支出額
1) フリースクール事業	年間を通して、学校以外の子どもの居場所・出会い・交流・学習の場の提供、活動支援、相談活動、見学・体験入会などの実施、情報提供などを行った。 2019年度は43名でスタートし、9名が新入会し、6名が年度中に退会した。(2020年3月末の在籍：45名。)	本法人の事業所他	12,829 (千円) 以下同様
2) 子どもとの関係や対人関係に悩む人の相談に応じ、互助活動を支援する事業	親の会 毎月1回、年10回実施した(のべ参加者数：183名)。	本法人の事業所	9,971
	埼玉県ひきこもり相談サポートセンター(埼玉県委託事業) 月・水～土曜日10:00～18:00にひきこもり等に関する相談を電話・来所・メールにて受けた(のべ相談者数：1549名)。	本法人の事業所他	
	コル～発達障害とともに生きる会 計4回、互助的な会を開催した(のべ参加者数：52名)。	本法人の事業所	
	ほっとりんご(埼玉県ひきこもり集いの場運営事業) 20歳以上の人の居場所として毎月2回、様々な活動を実施した他、女子会を年3回実施した(のべ参加者数：153名。うち芹沢氏講演会42名)	本法人の事業所	
3) 生涯学習にかかわる事業	講演会・学習会 講演会を2回開催した(のべ参加者数：計89名)。	本法人の事業所	65
	行政と地域との協働事業「わくわく体験プロジェクト」 不登校の体験談を聞く会など、保護者向けの会を3回実施し、年度末に報告書を作成した(のべ参加者数：42名 2018年度…45名 2017年度…46名)。	中央市民会館	
4) 人権擁護の推進と福祉の増進に関わる事業	自立援助ホームの活動 家庭での生活に困難を抱える若者の自立支援を行った。今年度は2名が新規入居者となり、3名の一時保護を行った。退居者支援として、退居者の来訪、相談、訪問など(125件)を行った。	本法人の事業所	25,144
5) 活動の中で得られた子どもの教育と生涯学習についての意見を広めるための事業	『越谷らるご通信』の発行 毎月、会員及び関心をもつ方を対象に、11回、メールによる発信を含め、計4,000部ほどを発行し、活動で得られた知見を社会に発信した。	本法人の事業所	273
	インターネットによる発信 不特定多数の方を対象に、毎月1回メールマガジンの発行とホームページの刷新と随時の更新、フェイスブックによる発信を随時行った。	本法人の事業所	
	その他 ・埼玉県主催「不登校セミナー」にブース出展した。 ・埼玉県や越谷市が主催する3つの協議会にスタッフが委員として参加した。 ・行政や民間等の11カ所で研修会や講演会などの講師活動を行った。	本法人の事業所、埼玉会館他依頼先	
管理部門	法人事務、運営管理等	本法人事業所	2,355

3 運営管理に関する事項

- ・2020年3月末現在、正会員 73名(83名)、賛助会員 41名(40名)であった。(括弧内は2019年3月)
- ・情報管理が徹底されるよう、毎月事務局会議で個人情報の管理状況を確認した。
- ・広く支援を受けるための取り組みとして、「フリースクールりんごの木子どもサポート基金（以下、サポート基金）」「若者自立支援基金」、「一般寄付」の3種の寄付メニューを継続した。サポート基金については、オンラインでの寄付サイト Give One を活用し、「高山弘子基金」「はる基金」など幅広い方からの支援をいただき、助成金として受け取る事ができた。また、ネットワーク SAITAMA21 運動より「NPO 応援少額助成」としてパソコンの物品助成を受けた。
- ・当該年度の譲渡資産、資産の貸付、役務の提供に関しては該当なし。
- ・給与を得た職員の総数 11名。左記職員に対する給与総額 30,252,070円